

世界の道化師

大棟耕介特別講演会

日本を代表するクラウン（道化師）にして、病院に笑いを届ける NPO 日本ホスピタルクラウン協会会長でもある関西大学客員教授・大棟耕介氏の特別講演会を、下記の要領で開催します。皆様お誘い合わせのうえ、お越してください。

記

関西大学客員教授・株式会社プレジャーB 代表取締役

NPO 日本ホスピタルクラウン協会会長

大棟耕介特別講演会

「笑いの力：ホスピタルクラウンの現場から」

日 時：11月14日（月）14：40～16：10

会 場：関西大学堺キャンパス SB301 教室

参加費：無料

事前申し込み不要

<講演要旨>

日本ではピエロという名称で呼ばれ、「白塗り」「しゃべらない」といったイメージがありますがピエロとはヨーロッパ伝統芸能の役名のひとつであり、私たちが普段ピエロと呼んでいるものは正式には『クラウン（道化師）』といます。クラウンには一人一人に名前があり、個性も豊かで誰もが共感を持つような親しみのある不思議な存在なのです。そんなクラウンの笑いや楽しさで、子どもを中心とした入院患者を笑わせ、楽しませ、それにより創造性を膨らまし、能動性を引き出す事を目的にホスピタル・クラウンの活動しています。



笑いには人を癒す力があります。笑いが起こると場の空気はとても和やかになり、コミュニケーションが活性化されます。病院でも、クラウンが行くことによって空気は見事なまでに変わります。子ども達の口数が増え、声が大きくなり、子ども達からクラウンに近付き、げらげら笑いながら話をするようになります。そういう状況を場の空気を読みながら作っていくことがクラウンの仕事なのです。

<プロフィール>

昭和44年生まれ。愛知県知多郡阿久比町出身。平成4年筑波大学体育専門学群卒業。同年名古屋鉄道株式会社入社。平成6年クラウン養成講座受講後、クラウンを始める。平成7年クラウンファミリー『プレジャーB』を結成。平成10年名古屋鉄道株式会社退社、同年有限会社プレジャー企画設立、代表取締役就任。

平成16年病院で入院中の子ども達を訪ねるホスピタル・クラウンの活動を開始する。この年よりパッチ・アダムス氏と共にロシアの病院慰問ツアーに毎年参加する。平成18年NPO法人として日本ホスピタル・クラウン協会が認定される。平成20年フロリダのWCAコンペでグループ部門1位になる。

総勢約40名のクラウンチーム『プレジャーB』のリーダー。抜群の運動神経と大きな身体を活かした大技が得意で、その場にあるものを頭の上に乗せてしまうバランス芸、全長3mにもなる足長芸などのパフォーマンスは観客を惹きつける。病院を回る『ホスピタル・クラウン』の活動を日本を中心に世界中で行っており、新聞・雑誌・TVで数多く取り上げられ、講演やテレビ取材も多い。著書『ホスピタルクラウン』（サンクチュアリ出版）は、2008年TVドラマ化（フジテレビ）された。現在は、「笑いは職場環境を変える」などの講演会を年間150本ほど行っている。

<著書など>

「ホスピタルクラウン 病院に笑いを届ける道化師」 著：大棟耕介 発行／発売：サンクチュアリ出版

「道化師流サービスの力 空気を読み・笑顔をつくる おもてなしテクニク」

著：大棟耕介 発行／発売：こう書房